

## シリアンハムスター 2 例にみられた Renal Dysplasia(腎形成異常)

飯田晶敏、熊野篤、菅野剛、土谷稔（三菱化学安科研）

Renal dysplasia(腎形成異常)は分化の異常による腎実質の発育異常で、ヒト、豚、馬、牛、羊、犬および猫では数多くの報告例があるが、小型げっ歯類（マウス、ラット、ハムスター）では発生は極めて稀とされている。今回、我々はシリアンハムスター 2 例に renal dysplasia 病変を認めたので報告する。

【材料と方法】シリアンハムスター（5 週齢）雌雄各 25 匹を購入して、無処置のまま剖検し、全例の腎臓について病理組織学的検査を行った。また、一部の動物について電顕的検査を行った。

【結果および考察】肉眼的検査により、雄 2 例に片側性に小型の腎臓が発見された。2 例とも、淡桃色で不規則な表面をもつ小型腎臓が左側にみられた。組織学的、電顕的検査により、小型腎臓では皮質外帯から腎乳頭に至る全腎組織に未成熟、未分化組織を特徴とする dysplasia 病変がみられた。糸球体は小型で、小型・円形の核を有する細胞より構成され、血管腔の狭小化がみられた。皮質領域の尿細管は小型で円形あるいは卵円形の核と淡明な細胞質を持つ上皮から成り、管腔は狭小・不明瞭であった。髄質領域では、尿細管の上皮は扁平で、小型・円形の核を有し、管腔の拡張がみられた。間質には、皮質・髄質領域ともに線維芽細胞の増殖とリンパ系細胞の浸潤がみられた。

本ハムスターにおける renal dysplasia の報告は極めて少ないが、これはその病理学的背景データが未だ十分に蓄積されていないことも一因と考えられる。今後、病理学的背景データが蓄積されれば、本症例の増加が予測され、疾患モデルとしての可能性も期待される。